

校種・教科等	高校地歴 (世界史)	通知番号		氏 名	
--------	---------------	------	--	-----	--

『歴史総合（世界史）』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和7年9月〇日(〇) 第〇校時(50 分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(40 名)

使用教科書 『詳解歴史総合』(東京書籍)

(4) 単 元 名 第2章「国際秩序の変化や大衆化と私たち」 2節「第一次世界大戦と大衆社会」

(学習指導要領:大項目C「国際秩序の変化や大衆化と私たち」

中項目(2)「第一次世界大戦と大衆社会」)

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

大項目A「歴史の扉」から大項目C「国際秩序の変化や大衆化と私たち」中項目(1)「国際秩序の変化や大衆化への問い」まで学習済み。

【単元のねらい】

諸資料を活用して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを考察したり表現したりして、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解できるようにすること、また、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察したり表現したりして、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解できるようにすることをねらいとしている。

【生徒の状況】

国公立大学進学希望者が多い普通科の1年生 40 名。年度当初のアンケートでは、中学校段階の歴史分野の学習内容については、ほぼ全員が「理解できている」と回答しているが、2回目のアンケートでは、やや苦手意識を持った生徒が見られ、その大半が理由として「暗記が苦手」と回答している。

地理総合と並行して履修しており、2年次以降は地理探究、日本史探究、世界史探究のいずれかを履修する予定。

(6) 指導計画(全9時間)

時間	主題	学習内容
1時間目	1 大衆社会の時代	■近代化から大衆化へ ■大衆化と総力戦
2時間目	2 第一次世界大戦の展開 (本時, 104～106 ページ)	■大戦の背景と経緯 ■総力戦体制 ■戦争への不満と終戦
3時間目	3 国際協調体制の形成	■ヴェルサイユ体制と国際連盟 ■ワシントン体制と軍縮
4時間目	4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義	■ロシア革命とソヴィエト連邦の成立 ■社会主義運動の拡大
以 下 省 略		

【課題】次のア～ウの視点を踏まえたうえで、指導計画の太線で囲まれた授業について、模擬授業を行う。

ア 授業者による「本時の問い」の設定

イ 本時の授業における学習活動や学習形態

ウ 本時の授業における学習評価の見取り

※評価の3観点…①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高校・地歴 (日本史)	受審番号		氏 名	
--------	----------------	------	--	-----	--

『日本史探究』模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年6月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 2年2組教室
 (3) 学年・学級 第2学年2組(30名) 使用教科書 『日本史探究』(実教出版)p80

- (4) 単 元 名 第2部 中世の日本と世界 第1章 荘園公領制の成立と院政
 (学習指導要領:大項目B「中世の日本と世界」 中項目(1)「中世への転換と歴史的環境」)

- (5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

2時間目「院政の成立」までを学習済み。

【単元のねらい】

- ・貴族政治の変容と武士の政治進出, 土地支配の変容などを基に, 古代から中世への時代の転換を理解させる。
- ・権力の主体の変化, 東アジアとの関わりなどに着目して, 古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し, 表現させる。
- ・時代の転換に着目して, 中世の特色について多面的・多角的に考察し, 時代を大観する。

【生徒の状況】

- ・国公立大学進学希望者が多い普通科の2年生30名である。年度当初のアンケートでは, 「歴史が得意」と回答した生徒が60%(18名)であるが40%(12名)の生徒は「歴史が苦手」と回答しており, その理由を12名すべてが「暗記が苦手」だからとしている。
- ・歴史的見方・考え方や, 歴史的事象を多面的・多角的に考察し表現する力が, 十分身に付いていない。
- ・グループ活動については, 多くの生徒が意欲的に取り組むことができるが, 一部は消極的で自分の意見を言えない生徒もいる。

- (6) 指導計画(全6時間)

主題	時間	学習内容
荘園公領制の成立と 院政	1 時間目	■開発領主と武士団 ■荘園公領制の形成
	2 時間目	■院政の成立
	3 時間目 (本時) p80	■院政期の社会
	4 時間目	■京武者と武家の棟梁
	5 時間目	■平氏の成長 ■平氏政権
	6 時間目	■院政期の文化

【課題】次のア～ウの視点を踏まえたうえで, 指導計画の太線で囲まれた授業について, 模擬授業を行う。

ア 授業者による「本時の問い」の設定

イ 本時の授業における学習活動や学習形態

ウ 本時の授業における学習評価の見取り

※評価の3観点・・・①知識・技能, ②思考・判断・表現, ③主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高校・地歴 (日本史)	受審番号		氏 名	
--------	----------------	------	--	-----	--

『日本史探究』模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年7月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 2年2組教室
 (3) 学年・学級 第2学年2組(30名) 使用教科書 『日本史探究』(実教出版) p122-123

- (4) 単 元 名 第2部 中世の日本と世界 第2章 中世の国家・社会の展開
 (学習指導要領:大項目B「中世の日本と世界」 中項目(2)「歴史資料と中世の展望」)

- (5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

6時間目「産業の発達」「商業の発達」までを学習済み。

【単元のねらい】

- ・武家政権の成立と展開, 産業の発達, 宗教や文化の展開などを基に, 武家政権の伸張, 社会や文化の特色を理解させる。
- ・公武関係の変化, 宋・元(モンゴル帝国)などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して, 中世の国家・社会の展開について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現させる。

【生徒の状況】

- ・国公立大学進学希望者が多い普通科の2年生30名である。年度当初のアンケートでは、「歴史が得意」と回答した生徒が60%(18名)であるが40%(12名)の生徒は「歴史が苦手」と回答しており, その理由を12名すべてが「暗記が苦手」だからとしている。
- ・歴史的見方・考え方や, 歴史的な事象を多面的・多角的に考察し表現する力が, 十分身に付いていない。
- ・グループ活動については, 多くの生徒が意欲的に取り組むことができるが, 一部は消極的で自分の意見を言えない生徒もいる。

- (6) 指導計画(全9時間)

主題	時間	学習内容
南北朝の動乱	1 時間目	■鎌倉幕府の滅亡 ■建武政権
	2 時間目	■南北朝の動乱 ■守護大名の成長
室町幕府の政治と外交	3 時間目	■政治拠点の統合 ■内乱の終息 ■室町幕府の組織と財政
	4 時間目	■東アジアとの交易 ■朝鮮王朝の成立
	5 時間目	■琉球王国の統一 ■北方の交易
室町社会の展開と 応仁の乱	6 時間目	■産業の発達 ■商業の発達
	7 時間目 (本時) p122-123	■惣村の発展 ■徳政一揆
	8 時間目	■応仁の乱 ■下剋上の社会
室町文化	9 時間目	■南北朝の文化 ■北山文化 ■東山文化 ■庶民文化 ■地方文化の興隆 ■宗教界の下剋上

【課題】次のア～ウの視点を踏まえたうえで, 指導計画の太線で囲まれた授業について, 模擬授業を行う。

ア 授業者による「本時の問い」の設定

イ 本時の授業における学習活動や学習形態

ウ 本時の授業における学習評価の見取り

※評価の3観点・・・①知識・技能, ②思考・判断・表現, ③主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。